

# VR安全教育で事故減

## 導入前の1/3 隙間時間を活用

### 富士陸送

### 海コン輸送へ展開検討

富士陸送（山本由紀子社長、東京都大田区）は、VR（仮想現実）による安全教育で、交通事故削減の効果を上げていく。導入前後で事故件数は3分の1に減少、隙間時間を活用できることから、労働時間を削減しつつ臨場感の高い教育を行うことが狙い。荷主からの表彰といった成果にもつながり、今後、車両の動きが特殊な海コン輸送車両にも取り入れることを検討する。（吉田英行）

同社は食品輸送事業部を、社員数1200人、再現した退火、後退時、左と右のVR輸送事業部があり、VRによる安全教育動画 折時の事故VRを視聴し、食品輸送用のトラック、VRによる安全教育動画 折時の事故VRを視聴し、53台、海上コンテナ輸送用 効果的な事故防止対策を模 警察のポイントを学ぶWacのトラック30台を保有する。実務中、スマートフォンが Wac（佐々木重太社

テキストを使用し、集合教育を実施していたが、果たして本音で伝えているだろうか、と不安を思っていた。たしかにドライバーが少しでも興味を持ってくれたら、と考え導入を決めた」と話す。

VRは食品輸送事業部の倉4カ所の営業所それぞれ1台ずつ導入、教育内容も国士交通省が定める指導・監督方針12項目に基づき、コンテンツが基本で、毎月1項目ずつ受講、受講記録が残る。管理やすい、12項目以外をテーマにした動画もあり、任意に選んで視聴することも可能だ。

導入事故を削減した3360度視野の動画をVRで視聴する、あまりの臨場感に、思わずのびのびとした声が出しまったりするドライバーもいる。最初は戸惑ったが、継続するうちに「今後VRの時間はいつですむか」と聞いている人が増え、今では新鮮だ。

「紙を見せると真剣に向き合おうとは思いますが、動画での疑似体験はドライバーの頭につかぬ。1分間の動画の情報は小説20冊分相当さ、という話を聞いたことがあるが、動画の力はすごい」と岡田氏も驚きを隠さな。

「選ぶ」「優秀なドライバー」として富士陸送の分入が選ばれ、4営業所のうち2営業所で「優秀会社賞」を受けた。

Wacでは今後、トレーラに特化した動画も制作する。この計画も、富士陸送が「これが完成すれば、コンテナ輸送事業」の展開を検討する。岡田氏は「動画は数分位の短いものを定期的に入れたい」と思っており、さらなる職場にたいくと思いを込め、

長、東京都練馬区の動画サービスを新聞記事で知ったのがきっかけだった。

富士陸送の岡田総輸送事業本部長は「以前紙の



「社会を目指す」と岡田本部長

「紙を見せると真剣に向き合おうとは思いますが、動画での疑似体験はドライバーの頭につかぬ。1分間の動画の情報は小説20冊分相当さ、という話を聞いたことがあるが、動画の力はすごい」と岡田氏も驚きを隠さな。

「選ぶ」「優秀なドライバー」として富士陸送の分入が選ばれ、4営業所のうち2営業所で「優秀会社賞」を受けた。

Wacでは今後、トレーラに特化した動画も制作する。この計画も、富士陸送が「これが完成すれば、コンテナ輸送事業」の展開を検討する。岡田氏は「動画は数分位の短いものを定期的に入れたい」と思っており、さらなる職場にたいくと思いを込め、